

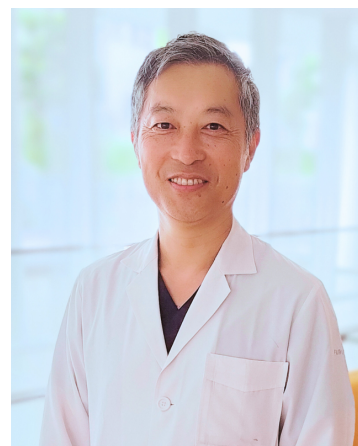
小児外科



診療科紹介 HP

ご挨拶

平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。2017年より診療部長を拝命し、8年が経過いたしました。COVID-19という未曾有の感染症を経て、診療体制が日々変化する中におきましても、未来あるこどもたちの健康を守るべく、診療・教育・研究に尽力してまいりました。川崎市は全国的に見てもこどもの数が多い地域でございますが、今年度より本格的に始まった働き方改革や小児科医の減少により、小児医療を取り巻く環境は一層厳しさを増しております。そのような状況下において、私ども小児外科医は「どこでも受けられる医療ではない」ことを肝に銘じ、24時間365日体制で診療にあたっております。地域のこどもたちの健康を支える一助として、ぜひご活用いただけましたら幸いです。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



診療部長

古田 繁行 (主任教授)

診療科の特色

現時点で、当院において対応が困難な小児外科疾患は移植医療のみとなっております。「これは何科に紹介すべきだろうか」とご判断に迷われるケースもあるかと存じますが、まずは小児外科へご紹介いただけましたら、適切な診療科へのご案内も含めて対応させていただきます。どうぞお気軽にご相談ください。

患者さんのご紹介について

 聖マリアンナ医科大学病院
ST. MARIANNA UNIVERSITY HOSPITAL

 044-977-8111 (代表)

紹介受付時間：平日 8：30～15：00
土曜 8：30～11：00



044-975-0608

医療機関からのWEB予約サイトはこちら



 聖マリアンナ医科大学病院
患者さんの紹介について

お問い合わせ先：メディカルサポートセンター



かかりつけのみならず、初めてのお子さまも



24時間・365日 救急対応しております

◇ 対象疾患

ここに掲載していない対象疾患は、
右記HPからご覧いただけます。



1. 腹痛などを主訴とする消化器疾患や急性腹症

2. 新生児外科疾患

3. 呼吸器疾患

(喉頭・気管狭窄・軟化症、先天性嚢胞性肺疾患、気胸、膿胸 など)

4. 腹部の悪性・良性腫瘍

(神経芽腫、腎芽腫、肝芽腫、横紋筋肉腫、奇形腫 など)

5. 外傷

6. 体表疾患

(鼠径ヘルニア、陰嚢水腫、停留精巣、移動性精巣、臍ヘルニア、
頸部嚢胞・瘻孔疾患、漏斗胸、血管腫、リンパ管腫 など)

◇ 主な検査および処置

・ 新生児先天性疾患

先天性心疾患を除く、胸部、腹部、表在の先天性疾患が対象です。小児科（新生児科）と連携して治療にあたります。

・ 異物誤飲

気管内異物（ピーナッツ）や消化管異物（コインやボタン電池など）は乳幼児に認められることがあります。内視鏡的摘出術が必要な場合も多く、常に準備を整えています。

・ 嘔吐精査

新生児期、乳児、幼児、学童期と様々な疾患で見られます。脱水が強い場合には、緊急入院後、精査いたします。

・ 黄疸精査

胆道閉鎖症、胆道拡張症、肝炎などが考えられます。超音波検査、CT検査を行い、個々の症状に合った治療を行います。